

HOKKAIDO IYEO NEWS

VOI.56
2019.6

TOPICS

平成 30 年度 帰国報告

平成 30 年度国際青年育成交流事業
(函館プログラム)

内閣府青年国際交流事業 事業説明会 & 報告会

平成 31 年度受験者交流会

平成 30 年度 北海道・東北ブロック大会
全国大会 @千葉県

国際協力フェスタ

Talk&Try 夏のそば打ち・ひよっとこ踊り体験
ビアンビ! とっておきの風景

胆振東部地震被災地視察 & 復興支援金について

冬の防災セミナー

事業紹介写真展

平成 30 年度 帰国報告



平成 30 年度 国際青年育成交流事業・ラオス派遣
宇多 嶺

ラオスに着いてすぐ蒸し暑い!と思いました。それもそのはずラオスは沖縄より南にあり雨季ということも相まって特に湿度が高かったです。

ラオスで働く日本人やラオス人と話して思ったことはラオス人はお金を稼ぐことに執着せず、家族や友人と過ごす時間を大切にすることでした。それは今の日本の価値観ではなかなか見ることの無い、大切なことではないのかと思いました。

世界青年の船 帰国報告会 @ オリンピックセンター

5月18日(日)、東京オリンピックセンターにて帰国報告会がありました。多くの人にこのプログラムの魅力を知ってもらうために、SWY31メンバーで準備を進めてきました。私は参加できませんでしたが、広報活動としてポスター掲示等でお手伝い。当日はライブ配信をチェックし、メンバーの発表に北の大地から声援を送っていました。レターグループメンバーと電話をしたり、懐かしさとSWYで学んだことを改めて思い出させてくれる良い機会でした。直接会いたいですね~!

資料も発表も素晴らしかった!未来のSWYerに響く報告会だったと感じます。

三浦 舞子(平成 30 年度 明治 150 周年記念「世界青年の船」)

平成 30 年度 明治 150 周年記念「世界青年の船」
川瀬 結女子



「世界青年の船」事業では、世界各地から集まった海外青年と船内で共同生活をしながら、ディスカッションや異文化交流等を通して、異文化対応力やコミュニケーション力を高め、リーダーシップの向上を図ります。アメリカ留学中には成し得なかったアウトプットの経験と、異文化に真摯に向き合う機会を求めて、本事業に参加しました。様々な異文化衝突に遭遇する中で、その対応に奮闘しました。自分が間に入り仲裁することで、対立していた両者がお互いを理解しようと歩み寄る場面が何度もあり、自分には異文化の中で人を調整する役目があると、自分の存在に自信を持つことができました。

この事業は個々の特性を生かして、自分を表現する機会が無数にあることが魅力です。

平成 30 年度 明治 150 周年記念「世界青年の船」
秋保 沙央里

“If you want to go fast, go alone. If you want to go far, go together.”
(早く行きたいなら、一人で行きなさい。遠くへ行きたいのなら、みんなで行きなさい。)

この諺は、船で出会った言葉の中で一番印象に残っているもので、まさに「世界青年の船」事業そのものを表しているのではないかと思います。生まれ育った国も、文化も、言葉も、価値観すらも異なる 240 人が、泣き笑い、時にぶつかり合いながら、ともに何かを成し遂げようとする。みんな目指すからこそ、辿り着くことのできる場所があることを教えてもらいました。船で過ごした約 1 ヶ月間は、本当にチャレンジングで、刺激的で、私にとってかけがえのない経験になりました。この事業に参加することを支えくださった、たくさんの方に感謝の気持ちを伝えたいです。



平成 30 年度 国際青年育成交流事業 (函館プログラム)



平成 30 年 9 月 28 日～10 月 1 日の 3 泊 4 日、チリ共和国、オーストリア共和国から招聘した青年たちと、日本人のローカルユースがディスカッションをしました。大きなテーマを「SDGs (持続可能な開発のための目標)」とし、その中から環境、教育、文化と 3 つのテーマに焦点を当て、それぞれグループに分かれてディスカッションを行いました。それぞれのグループで、ディスカッションは白熱していました。

最終日の発表では、それぞれグループの色が出る興味深い発表会となりました。招聘したチリとオーストリアの青年たち、日本の青年たち、それぞれディスカッションのテーマへの理解が深まっただけでなく、お互いの国の文化を知ることができ、国を越えた友情を育み、非常に充実した時間を過ごしたようでした。

山本 紗佑里 (平成 28 年度 シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ)

内閣府青年国際交流事業報告会 & 説明会

事業報告会 & 説明会 @札幌エルプラザ



2月3日(日)に札幌エルプラザにて内閣府青年国際交流事業の体験談及び募集説明会を行いました。今回は4名の方に参加していただきました。国際交流フェスタで興味を持ってくださった方も参加しており、日々の活動の成果を感じました。

既参加青年4名による体験談では参加者の方々から様々な質問を頂きより事業に対して深い理解をされたのではないかと思います。今後の課題としては参加者を増やすためにどのような広報を行うかがあると思います。

宇多 嶺 (平成30年度 国際青年育成交流事業・ラオス派遣)

事業説明会 @函館

(はこだて未来大学、北海道教育大学、北海道交流センター)



平成30年12月6日～12月8日の3日間、はこだて未来大学、北海道教育大学、北海道国際交流センターの3か所で内閣府青年国際交流事業の説明会を行いました。3日間で合計31名の方が来てくれました。東京から内閣府の伊丹さん、青少年国際交流推進センターの小田さんが来てくださいました。函館から参加する青年が増えてほしいという思いから、この説明会の開催に至りましたが、興味を持ってくれた人が多く非常に嬉しかったです。私自身も大学の先輩が参加していたのをきっかけに事業について知ったため、こうした説明会がもっと色々な場所で開催できるといいのではと思いました。

山本 紗佑里 (平成28年度 シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ)

平成31年度受験者交流会



2019年4月20日エルプラザにて受験者交流会を実施しました。受験者及び興味がある大学生が約10名弱足を運んでくれました。各事業内容の説明後、試験対策として実際に模擬面接(日本語・英語)・模擬ディスカッション(日本語・英語)を行いました。英語面接を担当して下さった晴子先生のディスカッションについてのレクチャーは受験希望者だけでなく、IYEOメンバーにとっても学びとなる時間でした。最後はお茶やお菓子を囲みながら和やかな雰囲気の中既参加青年から様々なアドバイスを受けている様子もみられました。受験者交流会の縁が続くよう1人でも多くの参加者が北海道から出てくれることを願います。

高橋 麻実

(平成26年度青年社会活動コアリーダー育成プログラム・高齢者分野 デンマーク派遣)